

私たちは、ほんとうによく学び、よく働けけれども、一人ひとりに尋ねてみると、世界はいまどのような状態になっているか、社会はこの先どうなるのか、毎日の生活がどんな未来につながっているか、だれもあまり知らない。いつも真面目にものごとを考えているふうだけど、かんじんのかとは深く考えたことはない。私たちの身の周りだけにおこっているのか、知ろうとすれば知ることができるのに、知らないふりを決めこんでいる。そのような日常を暮らしている私たちは、日々、生きにくさを強く感じている。この生きにくさはどこから来ているのだろうか。いまこそきちんと立ち止まって周りをみまわし、社会におきている生きにくさの根源を突き止め、課題解決にむけていかなる行動をとっていくことができるか、語りあう必要があるのではないか。

世の中がなんだか変だなと思っているあなた。もっといろんな人と出会い、意見を交わしたいと思っているあなた。あなたをお待ちしています。

## Inclusive Architecture Workshop

広場にダンボールでシェルターをつくる



日本ボランティア学会2010白金 原っぱ大会  
開催日時:2010年6月26日-27日  
会場:明治学院大学白金キャンパス等

あらかじめ何をするのか決められたわけではなく、誰の所有物でもない。誰もの拠り所となり、多様な交わりの機会を提供し、偶然が必然となりさまざまな営みが生まれる場。現代の社会には、そんな「原っぱ」がなくなり、何をするのか決められた「遊園地」に変わってしまっている。

障害のある人、お年寄り、子ども、外国につながる人、ホームレス、いじめや差別をうけている人、貧困に苦しむ人、子育て中の人など、さまざまな人びとが暮らしているのに、それぞれに分断され、互いに出会うことなく、孤立したまま生きづらい日々を送っている。数少ない出会いの場も、行政や専門家のお墨付きが必要になる。そして人と人、人と自然との交わりは、限りなく希薄化していく。そんなすれ違いの都市東京。けれどもその周縁(エッジ) — たとえば近郊農地、障害のある人や外国につながる人びとの暮らしの場、長屋、そして路地など — に目を凝らせば、多様な人と人が出会い、生々しく交わり、そしてしんどさのなかで共に生きるための技法を編み出している現場を見出す。そんなエッジを一つひとつ結び、多様な人と人をつなぎながら、東京白金の地に寄り合う場としての「原っぱ」を生み出す。

2010/6/12 (W) 13:00~21:00

会場 明治学院大学 [www.meijigakuin.ac.jp](http://www.meijigakuin.ac.jp)  
白金キャンパス本館1101教室

品川駅から

\* 高輪口より 都営バス「目黒駅前」行きに乗り、「明治学院前」下車  
(乗車約6分) ※徒歩の場合は約17分



web | [tp://popo.or.jp/vgakkai](http://popo.or.jp/vgakkai)  
mail | [vgakkai@popo.or.jp](mailto:vgakkai@popo.or.jp)  
tel | 03-5812-4622 (エイブル・アート・ジャパン)  
fax | 03-5812-4630 (エイブル・アート・ジャパン)

日本ボランティア学会2010白金原っぱ大会  
寄り合う場としての原っぱ  
: 東京の周縁で希望を紡ぐ

- \* 資料の準備、交流会の準備の都合上、できるかぎり、事前に申込みをしてください(当日参加も受け付けます)。
- \* 参加費は当日に申し受けます。
- \* お預かりした情報は、日本ボランティア学会事務局が管理し、希望する方には次回のご案内等をさせていただきます。

6月12日 Workshop参加申込フォーム

ふりがな お名前	交流会 参加 ・ 不参加
連絡先 メールor住所   携帯電話)	所属 勤務先、在学先等)